

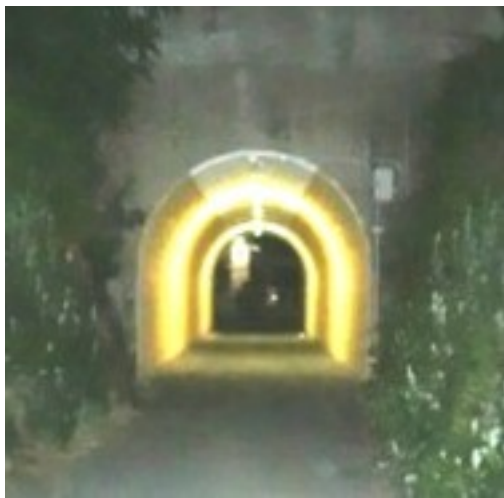
# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 80 2012. 6. 3 > 連絡先 402-1622

## 明るくなりました



今年のはじめ頃、「紀伊中之島駅下のトンネルが暗くて怖い」という声をいただきました。早速現地を見て、地元自治会長さん、連合自治会長さんにも同意をいただき、市役所に外灯の設置を要求しました。「来年度予算で設置する」という答えどおり、今年5月に外灯が設置され、トンネルが明るくなりました。

身近な要求なども、ぜひお寄せください。

### みち子のひとりごと

### 国民平和大行進

26日に行われた「国民平和大行進」。5月6日に北海道礼文島を出発して東京へ、別のグループは5月7日に富山を出発して広島へ、また別のグループは5月6日に東京を出発して広島へと、四国からも九州からも、そして和歌山からも広島（原水爆禁止世界大会が開かれる）を目指して、全国で10万人以上が核兵器廃絶と平和を求めて歩く、大イベントです。

今年は竹田昭彦さんという方が和歌山から広島まで通して歩きます。彼は、12年前から平和行進を歩き始め、今年の和歌山・三重コースで全県・全コースを歩いたことになるそうです。すごいことだと思えます。お話を伺うと、

彼は世界中あちこちのフルマラソンを1000回以上走っているのだそうです。これもすごいことです。竹田さんを見る目が、「尊敬の眼差し」から「あこがれの眼差し」に変わりました。



## 「冷静な議論を」 関係団体が表明

有名芸能人の母親が生活保護を利用して、生活保護全般への異常なバッシングが続くなか、生活保護問題対策全国会議と全国生活保護裁判連絡会は28日、「冷静な報道と議論を求める緊急声明」を発表しました。

声明は、高額所得者による親の扶養のあり方という特殊な事例をとらえて、生活保護制度の問題があるかのように報道していることを批判。

また、雇用の崩壊と高齢化の進展が生活保護利用者の増加原因であることや、それでも利用率は1.6%と先進諸国に比べて異常に低いことなど、事実を置き去りにした報道の姿勢を問うています。

そして、芸能人たちの事例を騒ぎたてた政治家たちが、生活保護の給付水準10%引き下げという政策を作った自民党プロジェクトチームの座長らであることを指摘。「自民党の提起も踏まえて、どう引き下げていくのか議論したい」（小宮山厚労相）と呼応する民主党政権を批判しています。

その上で、生活保護の実態に目を向け、「冷静にあるべき方向を議論すること」を呼びかけています。（しんぶん赤旗5月29日付より）

くにしげ秀明です

よろしく

おねがいします



公務員が多すぎるという

意見をいただくことがしばしばあります。

野田政権は、来年度の国家公務員の新規採用を

09年度

比で56

%減らす

方針です。

これまで

も、国家公務員の定数は連続して削減されてきました。労働相談は増えているのに、ハローワーク

では非正規職員で人手不足を補っているといえます。

公務員削減は、国民へのサービスや、若者の就職の機会の削減に直結します。

野田内閣の削減方針は許しません。

## 日本の巨大メディアを考える

志位和夫

一つは、歴史的に見て、社会に対するメディアの影響力がどれだけ大きくなってきているかという問題です。私たちの大先輩であるマルクス、エンゲルスが活躍した19世紀のヨーロッパと比較するとどうなるでしょうか。

当時、資本主義が一番発達していたイギリスのメディアがどれだけの影響力を持っていたかを調べてみました。日刊紙で最大の発行部数を持っていたのはタイムズ紙ですが、部数は5万5000部にすぎません。当時のイギリスの人口は約2000万人ですから、人口比ではわずか0.3%程度の部数ですが、それでも「時の政界の指導者や、政府の更迭まで、その意志のままであるとする絶大な力」を、タイムズ紙はもっていたといえます（「イギリス新聞史」、ジャパンタイムズ、1984年）。